

令和4年度 ふるさとのづくり支援事業

市町村名	新潟県阿賀野市	
事業名	ブランド化を目指す「枝豆」「トマト」を活用した新商品開発と新設道の駅を活用した地域商社機能の構築	
企業等概要	企業等の名称	株式会社あがの
	代表者氏名	代表取締役 丸山 正孝
	所在地	新潟県阿賀野市窪川原553-2
	連絡先	0250-25-7011
	URL	https://agano.co.jp/

令和6年3月現在

【事業者概要】

- ・令和3年、「道の駅あがの」の指定管理会社として設立。
「道の駅あがの」は令和4年に開業。
主目的は、道の駅の運営であり、地域の更なる発展に寄与する役割を担っている。

【事業概要】

◇背景・経緯

- ・阿賀野市の農業は水稻が中心であり、園芸に取り組んでいる農家は1割にも満たない。また、近年の米価下落の影響により、農家所得の低下が大きな課題となっている。
- ・そのような中、阿賀野市旧笹神村地区(過疎地域)において、稲作からの転作を推進して枝豆の栽培が広がる等、園芸振興への取り組みが活発化している。しかし、販路の確保や規格外品の有効活用などの課題があったため、規格外品の「トマト」を主原料としたマリナーソース(瓶詰め商品)といった新商品を開発するに至った。

◇開発概要

- ・新商品の付加価値を高めるために、原材料(トマト、枝豆)の付加価値化に取り組んだ。阿賀野市内食品製造業で発生する余剰物(酒粕)を有機肥料として使用し、農産物の味・成分の影響を調べ、付加価値の高い原材料(農産物)を仕入れる仕組みを構築した。
- ・原材料(枝豆)の調達については、JA新潟かがやき ささかみアグリセンターと緊密な連携を行い規格外製品の加工を道の駅内「農産加工施設」(食品営業許可密封包装食品製造業)にて実施。各種専門家の協力も仰ぎ、商品のブランディングにも注力した。

【成果】

◇地域性・特徴

- ・規格外品の「枝豆」を主原料としたスイーツ、規格外品の「トマト」を主原料としたマリナーソース(瓶詰め商品)といった商品を開発し、ブランディングやプロモーションにも取り組むことで、道の駅を活用しながら売り上げを伸ばし、地域経済に貢献している。
- ・また、生産者にとって規格外品を処分するのは非常に心苦しいことだが、それを少しでも有効活用できるようになったことも大きな意味がある。



道の駅あがの



ささかみトマトソース

◇商品化・販売先

- ・「ささかみトマトソース」「ささかみずんだ餅」につき、道の駅内の店舗と EC サイトにて順調に売り上げを伸ばしている。当該商品を求めて地域外から訪れる客も多く、地域経済の活性化に貢献している。

【今後の展望】

- ・規格外品のトマトを安定して仕入できる仕組みが構築されていないため、こちらのラインの確保を目指す。
- ・商品を量産させるには、人員体制が不足しており、機械化も進んでいない。今後は域外への販路開拓として、各種機関と提携の上更なる売り上げの向上を目指す。